



写真3



写真2

大きさ 5 cmほどのクサフグの子供を数尾展示しました（写真1）。

クサフグの体には、白い小さな斑点が水玉模様のように入り、赤いリングの中の目がきょろきょろ動く様子は愛嬌いっぱいです（写真2）。しかし、フグといえばフグ毒。腸や卵巣、肝臓に猛毒を持ちます。

クサフグたちを採集した場所は、公園のときめきビーチですが、もしかすると隣のさとうみ磯浜で生まれた子供たちかもしれません。実は、磯浜で毎年6月頃、クサフグが産卵を行うのです。産卵のタイミングは、潮が大きく満ち引きする大潮の日の夕方、満潮時刻とほぼ決まっています。夕暮れが迫る頃、どこからかクサフグの集団が岸近くに集まり、満潮時刻になると一斉に陸に向かって突進し、水から出てまいりそうなほど



写真1

浅瀬に乗り上げます（写真3）。この時、メスが産卵しオスが放精します。受精した卵は浅瀬の岩の隙間に沈み、外敵が入り込めない安全な場所でふ化を待つのです。展示したクサフグたちが磯浜生まれだと想像すると、とても愛着がわきます。

